

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語／古典探究】

1. 対象

多くの生徒は専門学校や四年制大学に推薦入試等で進学するという進路志望を持っている。授業に対して前向きに取り組む姿勢がみられ、意見交換も活発に行う。知識はあまりないものの、古典作品の面白さを理解したいという思いを持ち、これまでも「源氏物語」で人物相関図を作る学習活動や「雑説」で筆者の主張を読み解く学習活動において、調べ学習やグループワークを通して、それぞれが学びを深める場面が多くあった。

2. 単元名 『義経記』に書かれる人物の魅力をまとめよう。（全8時間）

教材：「如意の渡りにて義経を弁慶打ち奉る事」（『義経記』（教科書『高等学校 改訂版 古典B』）

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる単元の評価規準

①知識・技能	時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。(2)ウ
②思考・判断・表現	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。A(1)エ
③主体的に学習に取り組む態度	古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。

4. 本時の目標 (略)

5. 授業展開【本時・単元】

解決したい課題や問い
後世の文学作品に影響を与えた『義経記』の、登場人物の魅力をまとめよう。 - 誰のどんなところが人間としてカッコいいか、を考える -

考えるための材料		
『義経記』 如意の渡りにて義経を弁慶打ち奉る事 (教科書本文)	能『安宅(あたか)』 歌舞伎『勧進帳』 視聴覚資料、解説資料 (googleclassroomに資料添付)	「判官鼻肩」 語句の由来と意味
想定される活動	想定される活動	想定される活動
『義経記』について作品の概要を知り、読解を通して人物像を把握する。	能『安宅』、歌舞伎『勧進帳』について成立時期や概要を調べ、登場人物を把握する。	登場人物が人々にどのように思われていたかを考える。
ジグソー活動は行わず、全員が同じ資料を持って考えを広げていく。※その他自分で調べた資料を参考にしてよい。		

対話と思考（対話を通じた協力的な問題解決のプロセス）
<ul style="list-style-type: none"> ・材料によって得た様々な視点に基づき、課題解決に向けた着眼点をグループで整理する。 ・課題に対して、考えを深めた内容をワークシートにまとめる。 ・グループ内で意見交換を行う。 ・パフォーマンステストを行う。(最後に「誰のどんなところが人間としてカッコいいか」を、作品のエピソードや演出等、資料から根拠をもって考察し、レポートにまとめる。)

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）
<ul style="list-style-type: none"> ・弁慶がかっこいい。義経の伝説や人物像は何となく知っていたが、古典作品としては読んでことがなかったから面白かった。後世の作品に影響を与えたのは、悲劇のヒーローとして語り継がれた義経の存在も大きいですが、その義経に比べ、強い忠誠心を持ち機転の利く弁慶というキャラクターも一因ではないだろうか。また、相手となる渡り守も『義経記』よりも能や歌舞伎の方が分かりやすく描かれていて、弁慶との対比が面白いと感じた。脇役もかっこいい。人間としての魅力に深く感動するのは、現代も変わらないし、だからドラマや映画も見たいと思うのかもしれない。